

かるまい

議会だより



No.183

平成22年12月1日



軽米秋祭り（9月18日）

9月定例会

- 9月定例会可決議案 2～3
- 9月定例会決算等審査特別委員長報告 4
- 9月定例会決算等審査特別委員長報告に対する討論 ... 5～6
- 9月定例会請願陳情・9月定例会一般質問事項 7
- 9月定例会一般質問 6議員 8～13
- 臨時会可決議案 14

議員定数を十六人から十四人に削減 平成二十一年度七会計決算を認定

第三十三回定例会は、九月七日から十七日までの十一日間の会期で開かれました。

提案された案件は、岩手県市町村総合事務組合に関する議案一件、条例一部改正五件、財産の取得一件、損害賠償の額の決定及び和解一件、工事の請負契約の締結に関する案件二件、平成二十一年度会計決算の認定七件、平成二十二年度補正予算四件の二十一議案でした。

全ての議案は決算等審査特別委員会を設置し慎重に審査を行いました。

この結果は九月十七日の最終本会議で報告、すべて原案のとおり可決しました。

また、九月七日に軽米町議会議員の定数を定める条例の一部改正が議員発議として提出され、原案のとおり可決しました。

一般質問は六人の議員が行い、町政執行についてたえました。

9月定例会 可決した主な議案

議員発議

▼軽米町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

軽米町議会議員の定数を十六人から十四人に改める。平成二十二年九月七日から施行し、次の選挙から適用する。

▼過剰米対策に関する意見書の提出について
稲作農家が安心して米作りに取り組める環境を確立させるため、政府関係機関に意見書を提出する。

▼米価の下落に歯止めをかけ再生産できる米価の実現を求める意見書の提出について
米の輸入に関する政府公約を守り、政府備蓄米の適正な処理を行い米の価格保障と戸別所得補償を充実させるため、政府関係機関に意見書を提出する。

条例

▼軽米町手数料条例の一部を改正する条例

手数料の減免の範囲の変更及び、電算処理システムにより戸籍事務を執り行う

ことに伴い、所要の整備を行う。

▼軽米町母子家庭医療費給付条例の一部を改正する条例

岩手県ひとり親家庭医療費助成事業補助金交付要綱の改正に伴い、受給対象者を拡大する。併せて、高額介護合算療養費が給付の額に算入されることになったことに伴い、給付の額の算定方法を整備する。

▼軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

軽米町児童及び生徒医療費給付条例の一部を改正する条例

▼軽米町寡婦等医療費給付条例の一部を改正する条例
高額介護合算療養費が給

付の額に算入されることになったことに伴い、給付の額の算定方法を整備する。

補正予算

▼平成二十二年軽米町一般会計補正予算（第三号）

総額に四千七百八十六万七千円を追加し、総額を五十九億五千九百九十一万五千円とする。

歳入の主なものは地方交付税、県補助金など。

歳出の主なものは社会福祉費、教育総務費など。

▼平成二十二年軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

総額に一千九百三十五万六千円を追加し、総額を十三億六千六百四十九万七千円とする。

歳入の主なものは療養給

軽米町議会議員定数調査委員会

委員長報告

（委員長 松浦 求 議員）

軽米町議会議員の定数等調査委員会に付託された事件について、調査検討した結果を報告いたします。

この調査委員会は議員発議によって設置され、定数のみならず日頃の議員活動の反省点や今後のあり方など、広範囲にわたる議論となり、全委員から発言がありました。大変意義深い委員会だったと感じており、町民からも十分な理解をいただけるものと確信をいたしております。

委員の意見は削減に反対、現状維持、削減すべきの三つに分かれました。削減に反対の立場として、「町民の声は本当に削減なのか」「責任ある議会活動のためには削減はいかがなものか」「民意の反映という立場から見れば現在数は決して多くない」という意見が出されました。現状維持の考えを示す委員も多くあり、「普段からの議員活動が大切である」「自らがマナーを守って姿勢を正すべ

きではないか」「若い議員の人材発掘のためには一定の身分保障が必要である」など、削減する前にやるべきことがあるという意見が出されました。削減すべきとする意見は、「削減は町民の声である」「昨今の社会情勢は厳しく、当町でも行革を進めており、議会も並行して定数削減をするべきである」との意見でありました。

結果を報告いたします。定数削減はやむなしとする意見が多く、現在数から二名減の十四名として、次の一般選挙から適用すること意見を集約しました。また、報酬についても減額してはどうかという意見もありましたが、類似団体と比較しても決して高いとはいえず、広く人材を求めるためには一定の報酬は保障すべきとの意見が多く、現状維持としました。以上、調査の経過と結果について報告をいたします。

その他議決を求めるもの

▼軽米小学校及び軽米中学校の児童生徒の通学のため、スクールバスを買い入れる

〔品 名〕 スクールバス

〔種 別〕

二十九人乗りマイクロバス ミツビシローザ

〔台 数〕 二台

〔取得予定価格〕 九百六十一万八千円

〔取得方法〕

高常自動車工業株式会社より買入れ

▼岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて

雫石・滝沢環境組合を岩手県市町村総合事務組合に加入させ、雫石・滝沢環境組合の議会の議員その他非常勤職員にかかる災害補償に関する事務を岩手県市町村総合事務組合にて共同処理することについて、岩手県市町村総合事務組合規約において所要の整備を行う。

▼損害賠償の額の決定及び和解に関し議決を求めることについて

町の職員が運転中に起こした事故について和解し、損害賠償の額を決定する。

○平成21年度一般会計・特別会計決算の状況

会 計 別		決算額及び単年度収支の状況				
		歳入	歳出	実質収支	前年度実績収支	単年度収支
一 般 会 計		71億0,660万円	67億0,093万円	2億8,376万円	1億9,347万円	9,028万円
特別会計	国民健康保険事業勘定	14億7,361万円	14億1,010万円	6,351万円	1億4,281万円	△7,929万円
	老人保健医療会計	2,322万円	945万円	1,376万円	2,321万円	△944万円
	下 水 道 事 業 会 計	1億3,235万円	1億2,679万円	555万円	459万円	96万円
	介 護 保 険 会 計	2億2,296万円	1億9,962万円	2,333万円	290万円	2,042万円
	後期高齢者医療会計	7,441万円	7,242万円	199万円	58万円	140万円
合 計		90億3,317万円	85億1,934万円	3億9,193万円	3億6,759万円	2,433万円

・一万円未満切り捨てのため累計と合計は一致しません
・一般会計の実質収支は翌年度に繰り越すべき財源が差し引かれています
・単年度収支は21年度実質収支から20年度実質収支を差し引いた額です

▼小学校太陽光発電設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

〔工事場所〕

軽米町地内（軽米・小軽米・笹渡各小学校）

〔契約金額〕

六千九百五十一万円

〔請負者〕

有限会社小笠原電気水道

▼中学校太陽光発電設備工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

〔工事場所〕

軽米町地内（軽米・小軽米・晴山中学校）

〔契約金額〕

五千九百四十三万円

〔請負者〕

有限会社 松本電気工事

第33回定例会 決算等審査特別委員会 委員長報告

～原案のとおり可決しました～



特別委員長 細谷地多門

賠償の和解に関する議案一件、工事請負契約の締結に関する議案二件、財産の取得に関する議案一件、平成二十二年補正予算四件の合わせて二十一件の議案でございました。

特別委員会は九月十三日から十六日までの四日間、三階会議室で審議いたしました。この間、九月十四日午後から久慈市合同庁舎会

場での新しい岩手県廃棄物処理計画案についての説明会に全議員で参加しました。

議案第一号は、岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に

議案第二号は、軽米町手数料条例の一部改正に関するものであります。

議案第三号は、軽米町母子家庭医療費給付条例の一部改正であります。

議案第四号は、軽米町乳

幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部改正に関する議案。

議案第五号は、軽米町児童及び生徒医療費給付条例の一部改正に関する議案。

議案第六号は、軽米町寡婦等医療費給付条例の一部改正に関する議案。

議案第七号は、損害賠償の額の決定及び和解に関する議決を求める議案でございます。

議案第七号では、いつも過失の度合いが公用車側の負担が多い気がするという質疑、それから事故防止対策に対する質疑がな

されました。答弁といたしまして、今後はオペレーター等に確認を怠らないように注意を喚起したいとの答

弁でありました。また、除雪作業に関して補助員を付けることを検討したいとの答

弁もございました。

議案第八号、議案第九号は小中学校太陽光発電設備工事の請負契約の締結に関

し議決を求めるものでした。投資的效果を望む意見、耐用年数を含めた将来の財源負担についての質疑に対し、子供達の環境教育という面から長いスパンで捉え理解してほしいとの答弁、今後のメンテナンスの財源についても検討していきたいとの答弁でありました。

議案第十号は、財産の取得に関する議決を求めるものでございます。

議案第十一号、平成二十一年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定についてから議案第十七号、平成二十

一年度軽米町水道事業会計決算の認定についてまでの七件については、決算の概要、主要施策を中心に各担当課から説明を受け、代表監査委員より監査意見を求めて審議しました。

議案第十八号は平成二十二年

議案第十九号は国民健康保険特別会計補正予算、議案第二十号は介護保険特別会計補正予算、議案第二十一号は下水道事業特別会計補正予算であります。

決算の審議の内容を一部紹介しますと、歳入部分で

代表監査委員に対し、審査にあたっての重点目標、計画についての質疑がありまして、合併しないで頑張っている姿勢を評価し、良い状況に向かって進んでいるとの答弁がございました。

監査委員からの意見を町側がどのように受け止めているかという質疑に対し、指導、意見を尊重し改善に向けて努力していきたいとの

答弁でした。また、公債費比率の部分では、今後も十八%を超えないように努力するとの答弁でありました。

た。農林水産業費では、ミル・みるハウスの施設の一体的な運営管理、活用についての質疑があり、また依頼先の会社任せではなく積極的な姿勢を求める質問に対し、提案、助言を真摯に受け止め、運用向上に努めていきたいとの答弁がございました。

また、飼料用米の作付状況、作付種子の統一に関する質問もありました。小軽米共有地に関する農地無断転用の現状復帰に向けた取り組みの進捗状況については、今後も定期的に議会に情報を伝えていくという答弁でありました。

商工費での構造改革特区の

取り組みについては、内発型を含め総合的な方向で向上を図りたいとの答弁でございました。また、いきいき農園クラブ、グリーンツーリズム等の効果については、徐々に効果が現れており、首都圏への流通、人的交流を今後も充実させていくという答弁がありました。

議案第十七号については、上水道利用者の未納者対策の取り組み状況についての質問がございました。

審議の結果を報告します。議案第十一号、平成二十一年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定については賛成多数で可決し、議案第十一号を除く全議案は全会一致で可決しました。

それから、委員から今回指摘されましたが、当局が委員の質問に対して、手元に資料がないので後ほど調べて答弁するという場面が多々ありました。今後は、委員の質疑に対する答弁に

関しては万全な体制で臨むように願いたいと、委員からの指摘がございました。

以上、特別委員会の委員長報告いたします。

委員長報告に対し、それぞれの立場で討論をしました。

議案第11号

平成21年度軽米町一般会計歳入歳出決算

反 対



古舘機智男 議員

私は、今特別委員長から報告された全議案のうち第十一号、平成二十一年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定について反対です。

今回の決算議会は、山本町政にとっても特別な議会だ

政に勝ち抜いて当選された山本町長は、その四年後には無競争当選を果たし、二期目の最後の決算議会を迎えています。決算は単純な

数字の正確性だけでなく、町民から託された税金などが町民のためにどのように使われてきたのか、どんな町づくりがされてきたのか

を示すもので、特に今回はこれまでの山本町政の文字通り総決算としての全体像を評価し検討する立場から、この決算に対し反対の

討論をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

山本町政の二期約八年間の町政で、町は活気あふれる町になったでしょう

か。

町民が将来に希望を持ち、町民一人一人の福祉も充実し、大事にされ生き生きと暮らしているでしょうか。基幹産業である農業は展望が見えず、耕作放棄地はど

んどん増え、農業が活性化されたとはお世辞にも言えない状況ではないでしょうか。商店街も閑古鳥が鳴き、

休日などはほとんど人通りがない状況にもなっています。そして、多くの町民は

これから軽米はどうなっていくのかと不安を持って暮らしているのが実態ではないでしょうか。もちろんこ

のような状況は、国の構造改革路線によって、強いものはより強くという市場原

理の政策の中で福祉が切り捨てられ、地方も切り捨てられてきた。そういうところ

に大きな要因があることは事実であります。そのような国の施策から住民を守っていくのが地方自治体の本来の役割だと思いま

す。

まずは、町民一人一人が大切にされる町政が行われてきたかという問題です。これは一般質問でも取り上げましたが、今、地域活動が疎遠になってきており、無縁社会といわれています。

農村という地域のつながりが濃い社会でも、それが崩れかかっているのが現実ではないでしょうか。軽米町でも戸籍上はいるけれど

も所在の分からない人が二名いたとか、後期高齢者医療制度の短期保険者証が行方不明のため渡せないとい

ったことがあります。一人一人に行き届いた施策がきちんとなされているかと言

えば、ノーと言わなければなりません。また、町長は小さくてもきらりと光る自治体を目指すと言って当

面自立を選択しました。同僚議員から、当面という言葉を外すのかという質問がありましたが、相変わらず

当面合併はしないという言葉で終わりました。広辞苑で当面という言葉調べますと、今直面していること、

さしあたりといった意味があります。当面という言葉を使っ

てから何年になるのでしょうか。今直面していること、さしあたりという状

況ではないと思います。今後決して合併しないと約束しろとは言っていないません。ただ、協働参画の町づくりのために、腰を据えた施策が必要ではないかと思

います。その結果かも知れませんが、町長の施策には飛びつきというか、さしあたりという政策が多い気がいたします。プロードバンド事業、緊急経済対策などでの十五億の費用について、確かにこれからの情報化社会の中での必要性は認めますが、

交付税措置があるとはいえず、多額の借金を背負うこの事業に対して、もっと慎重な対応も必要ではなかったか。また、それによって発

生する住民の負担に関しては、ほとんど意に介さないような答弁でありました。

フォリストパークのアジサイの植栽にしても、よそで見えた、いいことだと思

ってすぐ実行するのも悪くありません。しかし、それが本

当に町民が望んでいた、観光客の増加につながると思

えませんか。一、二三年後にアジサイが根付いているかどうか

も疑問だと思います。町長は行政改革の断行で

町

町の財政は好転したと言っていますが、公債費比率などを見れば借金

の八年間で増えてきており、決して財政基盤が強化されたとは言えません。逆に国から示された集中改革プラン作成の義務づけによ

って職員が減らされ、そのことで庁舎内の活力も失われ、またその状況が町民にも

反映されているように思われます。私は、このように財政の面でも、施策の面でも軽米町の展望がきちん

と示されない、そのような決算に対して反対であります。

協働参画の町づくりは基本的には私も賛成です。しかし、例えば過去に何回も

行ってきた町政座談会の参加者は非常に少ない状況です。私は、町政座談会とい

うのは課長以下を含めた大

名行列でいくのではなくて、町長と最小のスタッフで全行政区を回りながら、

町民と膝をつき合わせて腹の底から話し合うべきだと思

います。難しい問題や専門的な問題については、後

日に回しても住民は決してそれに満足ではないと思

委員長報告に対し、それぞれの立場で討論をしました。

議案第11号

平成21年度軽米町一般会計歳入歳出決算

できると思います。言葉の上では町民総参加とは言っていますが、それを実行していない政策、決算内容に対して私は反対であります。

賛成



松浦 満雄 議員

今定例会に提案された全議案に賛成の立場から討論をさせていただきます。

特に先ほど反対のありました議案第十一号、平成二十一年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定についてですが、二十一年度の新規予算を振り返ってみますと、地域活性化・経済危機臨時交付金事業、きめ細やかな交付金事業、地域活性化・公共投資臨時交付金事業など総額で約二十億円のほぼ100%の国庫補助事業の導入や、町長の交際費をホームページで情報公開、軽米町地域情報化計画策定、戸籍電算化システム稼働、次世代育成支援対策地域行動計画の策定、山内、観音林、晴高小学校を統合し晴

皆さんとともにこの町を活性化していくためにも、この決算への反対に賛同いたいて、町をよりよくしていくためのご協力をお願いいたします。

山小学校の建設、特別養護老人ホームいちい荘の社会福祉協議会への移管、教員住宅の解体、下向川原町営住宅の解体、下向川原小学校団地の建設、小玉川小学校の解体、軽米高校生徒バス通学補助、協働参画地域づくりチャレンジ事業、中学生までの医療費無料化、妊産婦健診の公費負担の拡大、新型インフルエンザ予防接種の全額公費負担、全国に先駆けて取り組んだ飼料用米の栽培、軽米町優良繁殖雌牛更新事業、軽米牛ブランド確立事業、学校情報通信技術環境整備事業、小中学校地上デジタル受信環境整備事業、軽米中学校屋外トイレ新築事業、全国雑穀サミットの開催など、

たくさん新規事業や継続事業により町民の負託に応え、活力に満ちた豊かな地域社会を実現していくため、町民に身近な社会資本整備、地域福祉の向上、学校教育の充実、産業振興などのきめ細やかな行政施策に取り組んだ予算でもありました。

予算規模も繰越明許分はあったものの、九十三億三千三百万円という軽米町始まって以来の大規模な予算だと思っております。よく頑張ったと皆さんは思いませんか。厳しい町内経済状況の中、二十一年度の繰越予算二十億円の本年度執行により町内の土木、建設業者に行き渡り、苦しいながらも何とかしのいでいる状況であり、その波及効果は町内業者にも及んでいると考えます。また、平成二十年度に引き続き単年度収支も九千二百八十八万円の黒字となり、実質単年度収支も一億二千九百十八万円の黒字で二年連続での単年度黒字化を果たしました。また、公債費比率は0.3%程度上昇しましたが、これは晴山小学校の建設による一時的な上昇であり、特に問題なしと思われます。

町債の残高につきましては、山本町長就任時と比較して五億円もの減となっております。また、主要三基金の残高も平成二十年度と比較して二億三千三百万円ほど増加し八億七千九百万円となっており、これは平成十六年から平成十七年の水準まで戻ってきていることとなります。財政健全化法に基づく財政健全化判断比率も全く問題なく、県平均を下回る状況であります。定期的に来年の町長選挙を意識した反対のための反対であり、政策的な部分ではなく予算の認定を政争の具としているように感じられてなりません。

このように厳しい財政状況の中で、財源の重点的、効率的な予算配分をしながら、農林業、商工業の活性化、少子高齢化対策、教育と人材育成など町民に身近な施策を打ち出し、協働の町づくりを基本とした活力ある町づくりを積極的に推進した予算であり、弱者に優しく思いやりのある町民生活第一の決算だったと高く評価するものであります。

以上のような観点から、この議案第十一号に賛成するものであります。私はい

つも思うのですが、山本町長は古館議員の主張に十分とはいえないまでも、かなりの部分でその考え方を町政に反映していると個人的に思っております。商業振興の面から考えても、町長の施策によりかなりの商業効果を受けているのではないのでしょうか。当然町としても恩恵を受けていると考えており、先ほどの討論はあたらなような気がしております。飛びつきの町政、当面の町政だという指摘をされたようですが、ブロードバンド事業においては総務省でも進めており、光の道プランということで、このブロードバンド事業を実施しなければこれからの高度な社会変革の中で若者が定着するような軽米町にはならず、必要な事業であると思います。例えば携帯電話の不感地域がたくさんあるわけですが、それらも解消され、インターネットの接続の時間も非常に短くなる。そういった施策であり、私は時宜を得た施策であるということで高く評価するものでございます。

以上、賛成討論といたします。議員各位のご賛同をよろしく願いたします。

みなさんからの 請願 と 陳情

九月定例会

採 択

▼過剰米対策に関する請願

請願者

新岩手農業協同組合

代表理事組合長 田沼征彦

紹介議員

滝澤利男、横井内留次郎

要旨

米戸別所得補償制度の安定運営のため、緊急の対策として政府買い入れによる相当量の棚上げ備蓄を実施し、市場の過剰感を一掃すること及び、需給と価格の安定を図るという食糧法の規定に基づき、過剰米を国が責任を持って市場隔離する需給調整対策を恒久的な制度として確立・実施することについて、政府及び関係機関に対し意見書を提出いたしたい。

▼米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願

請願者

二戸農民組合軽米支部

代表 関向良雄

紹介議員

古館機智男、茶屋隆

要旨

①ミニマムアクセス米の受け入れ時に国内の米の需給に影響を与えないとした政府公約を守り、最低限、主食用のSBSや需要のないミニマムアクセス米の輸入を削減すること
②米の価格保障と所得補償を、再生産を保障する水準に充実させ、政府が米の需給と価格に責任を持つこと
③政府備蓄米のうち主食に適さないものを主食用以外に処理し、これに見合う三十万トン相当の備蓄米を適正な価格水準で買い入れること
以上の事項を実現するため、政府及び関係機関に対し意見書を提出いたしたい。

9月定例会

通告した質問事項は次のとおりです

一般質問 6議員

平成二十二年九月九日 質問議員三名

○松浦 満雄 議員

・次期町長選の出馬について

○茶屋 隆 議員

・いわて森林づくり県民税について
・軽米小学校の建築構想について
・地域懇談会について
・町長選について

○中村 光夫 議員

・社会教育施設の整備について

平成二十二年九月十日 質問議員三名

○山本 幸男 議員

・行政視察について
・入札について
・職員採用について
・町長の政治姿勢について
・設計委託料について
・参院選について
・町民生活について

○前田 泰穂 議員

・交通安全運動の展開について
・軽米小学校建設について
・本町の農業政策について

○古館機智男 議員

・地域の運営と協力が今こそ必要であるが、町民一人一人が大切にされているか
・情報通信基盤整備事業について
・新規就農者受入支援事業について



茶屋 隆 議員



地域懇談会

質 茶屋議員 軽米小学校の建築について、現時点の進捗状況を伺う。

答 江刺家教育次長 今年度当初に校舎及び体育館の強度を

＊ ＊ ＊

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

①道路整備について、町内で舗装されていない場所の今後の舗装計画を伺う。

＊ ＊ ＊

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

①道路整備について、町内で舗装されていない場所の今後の舗装計画を伺う。

答 江刺家教育次長 軽米小学校建設促進委員会の設置を準備中であり、併せて一般の方々からご意見を伺うように進めており、外観や敷地等についても建築促進委員会で進めてまいりたい。

質 茶屋議員 建設委員会を立ち上げるのか。立ち上げるとすればどういう形にするのか。また、PTA、町民等の意見はどのような方法で取り入れるのか。

建物を見ただけでも子供達がいやされるような外観にすべきだと思うがどうか。

質 茶屋議員 建設委員会を立ち上げるのか。立ち上げるとすればどういう形にするのか。また、PTA、町民等の意見はどのような方法で取り入れるのか。

診断する耐力度調査業務を実施した結果、構造上強度が不十分である判定が出されたため、新築することとした。学校の位置、構造などは今後関係各位、保護者の皆様などのご意見を伺いながら進めてまいりたい。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

①道路整備について、町内で舗装されていない場所の今後の舗装計画を伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

①道路整備について、町内で舗装されていない場所の今後の舗装計画を伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。

質 茶屋議員 今年度の地域懇談会は定期的にいつもより早く、夜間を中心に開催されたが、結果を伺う。また、懇談会で出た中から、次の四点について伺う。



軽米町役場



松浦 満雄 議員

質 松浦議員 町長の任期も余すところ四ヶ月を切っている。次期町長選の出馬の意向があれば町長の決意の程を伺いたい。また、抱負と具体的な構想、現時点での自己評価について併せて伺う。

答 山本町長 町政の執行に当たり、農林業の活性化、商工業の活性化、少子高齢化対策と福祉の充実、教育と人材育成、行政改革の断行の五つを大きな柱とした施策を中心に進めてきた。

この結果、計画目標としていた六億五千万円を上回る約六億八千五百万円の経費削減を達成しており、財政健全化法に基づく実質公債比率、将来負担比率ともに県内市町村の平均を下回っている。また、単年度収支でも平成二十年度から黒字に転換となり、健全な財政を維持している。

これまでの取り組みとして

質 松浦議員 町長の任期も余すところ四ヶ月を切っている。次期町長選の出馬の意向があれば町長の決意の程を伺いたい。また、抱負と具体的な構想、現時点での自己評価について併せて伺う。

答 山本町長 町政の執行に当たり、農林業の活性化、商工業の活性化、少子高齢化対策と福祉の充実、教育と人材育成、行政改革の断行の五つを大きな柱とした施策を中心に進めてきた。

質 松浦議員 町長の任期も余すところ四ヶ月を切っている。次期町長選の出馬の意向があれば町長の決意の程を伺いたい。また、抱負と具体的な構想、現時点での自己評価について併せて伺う。

答 山本町長 町政の執行に当たり、農林業の活性化、商工業の活性化、少子高齢化対策と福祉の充実、教育と人材育成、行政改革の断行の五つを大きな柱とした施策を中心に進めてきた。

質 松浦議員 町長の任期も余すところ四ヶ月を切っている。次期町長選の出馬の意向があれば町長の決意の程を伺いたい。また、抱負と具体的な構想、現時点での自己評価について併せて伺う。

答 山本町長 町政の執行に当たり、農林業の活性化、商工業の活性化、少子高齢化対策と福祉の充実、教育と人材育成、行政改革の断行の五つを大きな柱とした施策を中心に進めてきた。

では、行政組織の見直しによる窓口の一元化や申請書類への押印の廃止などの簡素化、戸籍事務の電算化、児童館、小中学校の統廃合の推進や特別養護老人ホームいっさいの民間への外部委託、課等の統廃合による行政組織のスリム化やグループ制度の導入、職員数の削減とともに給与・手当等の見直し・削減、民間企業への研修派遣、補助金や使用料・手数料等の見直しと共に未使用借地の所有者への返還などを行ってきた。

今後とも社会経済情勢の変化に適確に対応しながら、町民の皆様とともに議論し、当町が向かうべき方向について共通の認識の元に協働の町づくりを基本としてそれぞれが果たす役割をしっかりと担いながら、活力に満ちた豊かな地域社会の創造に向けて取り組んでまいりたいと考えている。

このための大きな柱として、雇用対策、少子化対策、公共交通対策、高齢者福祉対策、農林業振興対策をさらに推進していくことが重要と考えている。

今後の町づくりにあたっては、これまで取り組んでは

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

質 松浦議員 八戸道の無料化に合わせ、交流人口拡大のために道の駅のような施設を整備してはどうか。

これまで合併せず当面自立として、行財政改革において七億近い経費を削減し基金も増額してきた。今年度中に第四次行政改革大綱を定めてさらに自立に向けて頑張るといふことだと思

問 中央公民館及び町立図書館の整備について、具体的な実施計画を定めるべきではないか

答 新しい総合発展計画の中で検討していきたい



中村 光夫 議員

【質】中村議員 町民の生涯学習の拠点となる中央公民館及び町立図書館はだいぶ老朽化している。不特定多数の人が出入りする施設としては安全性の問題もあり、生涯学習の町を宣言している町としてふさわしい施設を整備する必要があると思う。この中央公民館及び町立図書館を新築して整備する必要性については以前に質問したことがあるが、その時は財政状況を踏まえ検討してまいるとの回答だったと記憶している。で施設整備の必要性については共通の認識であると私は理解している。

平成十二年に策定された軽米町総合発展計画でも、施設整備について基本計画の中の基本目標で生涯学習推進の中核施設として生涯学習センター（仮称）と図書館等の整備を推進するとある。また、軽米町教育振興計画の中でも平成二十年

度を初年度とし平成二十四年度を目標年次とする五カ年計画の中で各論の項目で、中央公民館機能を兼ね備えた生涯学習センターの整備を検討し、図書館についてはだいぶ老朽化している。で改築を検討するとある。平成十二年に策定された軽米町総合発展計画は今年度で終了するが、いまだに何年頃整備する予定であるという目標年次は示されていない。現在の軽米町総合発展計画が今年度に終了することにより、新たに平成二十三年度を初年度とする十カ年の軽米町総合発展計画の策定の作業を進めていると伺っている。新しい総合発展計画の策定にあたっては、施設の整備についても取り上げられると思うが、このようなハード面の整備については目標年次を設定した実施計画を定め、何年頃までに整備するという具体的な方向を示すべきと思う。

を定めて検討すべきと思うが、町長の考えを伺う。

学習センターの整備について検討してまいりたいと考えている。

【答】山本町長 少子高齢化の進行や情報化、国際化とともに住民の生活意識や価値観などが多様化してきている。このような中で、中央公民館及び町立図書館は幼児期から高齢期に至るライフステージや、目的を持った人々が生涯を通じて自由に、気軽に利用できる施設として、生涯学習の中核をなす施設であると考えている。両施設についても老朽化が著しく、これまで何回となく改修を行いながら利用いただいているのが実態であり、新しい施設の必要性は十分認識している。平成二十二年度を初年度とする軽米町総合発展計画にも主要施策と位置づけ整備を進めてきた。しかしながら児童・生徒の健全な育成を図るため、学校教育環境の整備を優先に進めてきた。新しい軽米町総合発展計画策定、これは平成二十三年度を初年度として目標年次を平成三十二年度とするものであるが、この策定にあたっては、財政状況を踏まえ両施設を一体化した生涯

【質】中村議員 財政状況が厳しいというのは私も十分理解している。色んな行政需要もあって大変だろうとは思いますが、あつちもこつちもという総花的な投資ではなく、ある程度重点項目を決めて優先順位を付け、取捨選択をして投資すべきだと思う。社会教育施設の整備については当町の長い間の課題であると思うので、いつごろという明確な年次計画を示して取り組まれるように要望したい。

【答】山本町長 当面は軽米小学校の建築を最優先課題としているが、そちらに一定のめどが付き次第、次の公民館建設に向けての取り組みを進めてまいりたいと思っている。

問 最低制限価格制度は特定の業者を有利にしているのではないか

答 不正防止や労働条件の確保、工事の品質確保のための制度である

問 新採用職員の紹介を広報紙に掲載してはどうか

答 掲載する方向で検討したい

問 葬儀のあり方の改善を町の施策として取り組んでほしい

答 総合発展計画の中に生活の見直しも盛り込んでいきたい

問 町から補助を受けている団体の代表を町長が兼務することは問題ではないか

答 団体ごとの定款や会則に基づき、構成員の賛同のもとに就任している

【質】山本議員 ①情報通信基盤整備事業二件の入札について、六社中二社が辞退、一社は一件は辞退し一件は落札という結果で、競争の原理が働いていないのではないかと。②軽米町は最低制限価格を設定し入札を行っているが、特定の業者を有利にしているのではないかと。

③請負契約の承認を議会にはかる際に予定価格、最低制限価格を明示せずに提出されているが、公開すべきではないか。

【答】山本町長 ①当町の入札事務について、業者選定や入札参加者の指名基準は町の基準に基づき厳正に執行されており、競争の原理は働いていると認識している。②最低制限価格制度は不正や労働条件悪化の防止、工事の品質確保等を図るための制度であり、特定の業者を有利

にするための制度ではない。

③議会で否決された場合に再入札等の必要がある。で現行の方法が妥当と考えている。

【質】山本議員 県内で最低制限価格を設定しているのは十五くらいしかない聞いた。当町も廃止してはどうか。

【答】山本町長 私は競争の原理は働いていると考えているし、最低制限価格も決して特定の業者を有利にしているとは思っていない。

【答】田中副町長 最低制限価格制度の各市町村の状況等については調査をしたい。

【質】山本議員 ①新採用職員の紹介とそれぞれのメッセージを広報に掲載してはどうか。②六人の新規採用者の中に軽米高校新卒者がいないことについて、詳細を伺う。

③応募人数と試験の流れについて説明願いたい。

【答】山本町長 ①新採用職員の紹介とメッセージの広報への掲載については掲載するよう検討してまいりたい。②今年度の一般事務の一次試験受験者数は二十三名、うち軽米高校新卒見込み者数は

三名である。一次試験合格者十名のうち一名が軽米高校新卒見込み者であったが、本人が上級学校への進学を希望し二次試験を辞退している。

③当町の採用試験は二戸地区市町村合同で実施しており、一般事務については高校卒業程度の教養試験、作文試験を第一次試験とし、合格者は第二次試験として個別面接を行っている。試験問題の作成及び採点は、財団法人日本人事研究センターに依頼している。

【質】山本議員 新卒者の応募が少なかったのは、学校に対する募集の案内が遅かったからではないか。面接は誰が担当したのか。

【答】野中総務課長 軽米高校へは昨年七月に募集案内をしており、遅くはないと考えている。面接は町長、副町長、総務課長の三名で実施した。

【質】山本議員 葬儀のあり方の改善のため、懇話会の開催や協定書策定などの考えはないか。

【答】山本町長 久慈市では平成十四年に「冠婚葬祭の簡素化

この他、行政視察について、軽米小学校建設についての質問もありました。



古館機智男 議員



地域包括支援センター

答 古館機智男 議員 行方不明者はいない。未処理者は二名おり、現在調査中である。地域活動への支援については、地域の高齢者の健康の維持、保健福祉・医療の向上、生活安定のため、中核機関として地域包括支援センターを設置した。地域活動の拠点としての自治公民館、生活改善センター等とのさらなる連携を進め、財政的な問題も含めて検討し充実を図りたい。

質 古館議員 全国的に問題となっている行方不明の高齢者は軽米にいないか伺う。高齢者だけの世帯が日常生活を健康に過ごしているのかを確認できる仕組みができていくのか伺う。地域の活力を取り戻すため、過去にあった納税組合への補助のような、地域活動を支える新たな助成制度を創設してはどうか。

答 国や他市町村の事業を参考にしながら検討していきたい

問 新規就農者受け入れ支援事業を軽米でも実施してはどうか

答 国の救済制度を見ながら、要望は検討したい

問 地デジ放送開始に伴うアナログ放送停止の延期を求める考えはないか

答 行革で予算に余裕が出た分を振り分けていきたい

問 地域活動支援のための助成制度を創設してはどうか



軽米小学校

質 前田議員 飲酒運転事故を起こした場合、職員から飲酒運転追放誓約書を提出させている自治体があるが、当町でも実施してはどうか。来年から一部事業所ではア

質 前田議員 当町ではどのような交通安全運動を展開しているのか。先日、町職員の飲酒運転の報告があったが、その後どのような指導をしたのか伺う。**答 杉浦町民生活課長** 二戸地区交通安全協会軽米分会、軽米町交通指導隊、軽米町交通安全母の会を中心に、黄色い羽根の街頭配付、晴山小学校通学路での交通安全街頭指導、幼小中学校交通安全教室、軽米高校バイク実技講習会等を行っている。

質 前田議員 職員指導については交通安全七則を定め、毎朝町民憲章と併せ唱和をしている。

答 水田利活用自給力向上事業では六百九十二戸が対象となる

問 戸別所得補償制度の町内対象戸数は

答 建設委員会を作り、色んな意見を聞きながら進めていきたい

問 軽米小学校建築に当たり、建設委員会を立ち上げるのか

答 交通安全七則を定め、毎朝唱和を行っている

問 職員の飲酒運転防止のための取り組みを伺う

ルコール検知機の備え付けが義務化されるが、町でも設置してはどうか。**答 野中総務課長** アルコール検知器の設置については検討したい。誓約書については、その方向で進めていきたい。**質 前田議員** ①軽米小学校の建設について、どのように進めるのか伺う。②今後、建設委員会を立ち上げ学校関係者や一般の方等の意見を取り入れて進めていくのか。③学校建設費はどのくらいか、晴山小学校との比較で説明していただきたい。

答 中野教育長 ①平成二十三年度に建設用地の造成工事、二十五年年度までに校舎及び体育館の新築工事を行い、二十六年年度には旧校舎を解体し、その後グラウンド及び駐車場などの整備を行い、完成させてまいりたい。②現在準備中である。早急に作って色んなご意見をいただいていきたい。**答 江刺家教育次長** ③晴山小学校の建設費は校舎と屋内運動場の合計で七億九千八百三

十四万五千五百円である。軽米小学校のはっきりした建設費はまだ出ていないが、敷地面積当たりの補助対象額は約七億九千万円となっている。**質 前田議員** 戸別所得補償制度について説明願いたい。また、今年度の当町での対象戸数が分かれば伺いたい。

答 下畑産業振興課長 この制度は水田利活用自給力向上事業と米戸別所得補償モデル事業の二本立てで実施されている。水田利活用自給力向上事業は、麦・大豆・飼料用米などを作物ごとに全国一律の単価を設定でき、生産物は出荷・販売することが要件である。

質 前田議員 米戸別所得補償モデル事業は全国一律に十アール当たり一万五千円を交付するものである。交付対象者は、主食用米の生産を行った販売農家のうち水稲共済加入者で、二十二年産の販売価格が過去三年の標準価格を下回った場合には、差額を基に交付金が算定される。

当町における戸別所得補償の対象戸数は、水田利活用自給力向上事業では六百九十二戸が対象となり、申請者数は五百五十六戸となっている。

米戸別所得補償モデル事業は六百四十三戸が対象となり、うち六百二十五戸が加入申請を行っている。

質 前田議員 今まで農地を他人に貸していた農家が、補助金が出るから返してくれという、いわゆる貸しはがしによる集落営農離れが起きた場合の対策を伺う。

答 下畑産業振興課長 貸しはがしの軽米での現状は把握していないが、この制度が始まってから、今まで使われていなかった遊休農地で一ヘクタールほど作付けが行われている。

質 前田議員 猛暑による農畜産物の被害状況を伺いたい。

下畑産業振興課長 ホウレンソウについては芽が出ないとか枯れるという被害が町内全域で見受けられる。

葉たばこは暑さにより立ち枯れ病の被害本数が増えているが、収量は平年並みと見込まれている。

ブロイラーはこれまで四千八百五羽の熱死が報告されている。酪農家は乳量の低下、肉用繁殖農家は繁殖成績の低下などの影響が出ていると思われる。

くことは必要だと思っている。現在、町でやろうとしている事業は、チューナーに繋がられるような状況にまで持って行くことで、接続に関しては個々の世帯でやっていた。

質 古館議員 新規就農者への支援事業を軽米町も実施する考えはないか。二戸、久慈地区の中で新規就農者受け入れ支援事業をやっていない自治体はどこがあるのか教えていただきたい。

答 山本町長 新規に農業を目指す就農希望者に対し支援を行いながら、当町の奨励作物等の推進や農地の有効活用につなげる施策を展開している。国では生活保護世帯やNHK受信料免除世帯に対してチューナーの無料配付等の施策をしているので、それらを見ながら国への要望等は検討したい。

質 古館議員 地デジチューナーの無料配付対象とならない低所得世帯の方の中には、テレビが要らないという人がいるかも知れない。ただ、そうするとその人達は今回の情報通信基盤整備事業による町の放送サービスが受けられなくなる。全世帯が町の放送サービスを受けられ、テレビ難民を出させないためにも政府に対する対応や町独自の施策も検討すべきと思うがどうか。

答 下畑産業振興課長 この制度を実施していないところは、二戸管内では軽米だけと聞いている。

各市町村で行われている支援事業を参考にしながら軽米町としての方向付けを検討していきたい。

議会の傍聴に出かけて見ませんか

議会はだれでも自由に傍聴することができます
議会の傍聴は、町政を知る良い機会です

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます



久慈市で行われた新しい廃棄物処理法説明会（9月14日）

臨時会で決まったこと

補正予算

▼平成二十二年年度軽米町一般会計補正予算（第二号）
総額に七百八十三万七千円を追加し、総額を五十九億四百四十八千円とする。
歳入の主なものは県補助

第三十二回臨時会

（八月二十四日議決）

工事の請負契約

金、基金繰入金。
歳入の主なものは社会福祉費、保健衛生費。

▼軽米町情報通信基盤整備事業幹線光ファイバ伝送路工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

〔工事場所〕

軽米町全域

〔契約金額〕

五億四千六百万円

〔請負者〕

株式会社NTT東日本

▼軽米町情報通信基盤整備事業センタ設備・引込宅内工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

〔工事場所〕

軽米町全域

〔契約金額〕

七億八千二百二十五万円

〔請負者〕

北日本通信株式会社

▼軽米中学校柔剣道場新築（建築）工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

〔工事場所〕

軽米町大字軽米第六地割十七番地一内地内

〔契約金額〕

八千四百八十四万円

〔請負者〕

株式会社上柿建設

▼晴山小学校プール棟建築工事の変更請負契約の締結に關し議決を求めることについて

総額に三百六十七万八千円を追加し、総工事費一億四千五百二十一万八千八百円にて晴山小学校プール棟建築工事の変更請負契約を締結する。

第三十四回臨時会

（九月二十四日議決）

▼軽米町過疎地域自立促進計画の策定に關し議決を求めることについて
軽米町過疎地域自立促進計画を新たに策定する。